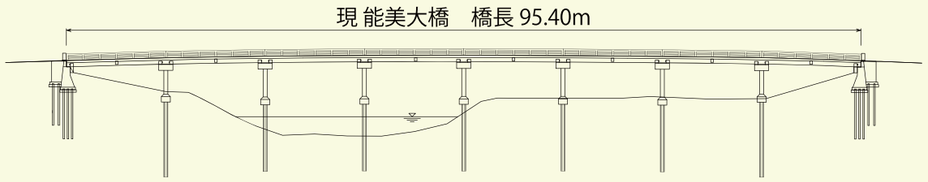
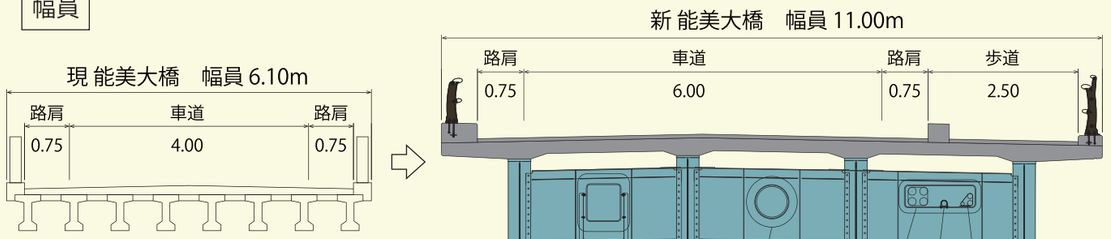
能美大橋架替工事の概要

橋長



幅員



小松市と連携し、地域交通の利便性向上と通学路等の歩行者の安全確保のため、車道を4mから6mに拡幅、2.5mの歩道を新設します。

	現 能美大橋	新 能美大橋
道路規格	―	第３種第３級
設計速度	―	V=40 km/h
橋　　長	L=95.40 m	L=108.40 m
幅　　員	B=6.10 m	B=11.00 m
添架利用者	―	国土交通省、小松市上下水道局 北陸電力、テレビ小松

お問い合わせ先

国土交通省　北陸地方整備局
金沢河川国道事務所

○金沢河川国道事務所
〒920-8648　金沢市西念４丁目 23 番５号　TEL(076)264-8800　（代表）
○小松出張所
〒923-0002　小松市小島町ヲ 27-２　TEL(0761)23-4000
受付時間：土日祝日を除く 9:00 ～ 17:00

平成 30 年９月作成

環境にやさしい植物油インキを使用しています　VEGETABLE OIL INK

R80 古紙パルプ配合率80％再生紙を使用

このパンフレットは、古紙パルプ配合率 80%以上の再生紙を使用しています。このマークは、３Ｒ活動推進フォーラムが定めた表示方法に則って自主的に表示しています。

～霊峰白山と清流が育んだ歴史文化のまち小松市街地を水害から守る～

水の郷こまつ梯川緊急治水対策プロジェクト

能美大橋（のみおおはし）架替工事

国土交通省　北陸地方整備局
金沢河川国道事務所
小　松　市

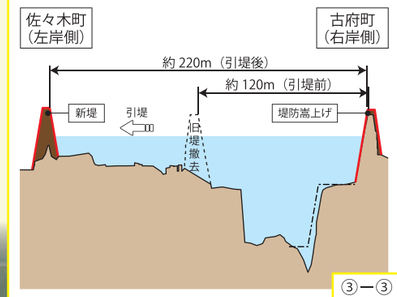
水の郷こまつ梯川緊急対策プロジェクト

梯川は、昭和 46 年の一級河川指定以降、大規模な引堤や河道掘削工事を進めており、洪水に対する安全度を向上させてきました。平成 29 年度までに河口から白江大橋までの引堤が完了しており、今後もさらなる安全度向上にむけ、洪水時に水位上昇が著しい白江大橋上流の改修を進めていきます。

白江大橋上流の主な河川整備の内容として「引堤」「堤防嵩上げ」「河道掘削」を実施します。また、河川改修と併せ、地域交通の利便性向上、通学路等の歩行者の安全確保のため、小松市と連携し、能美大橋の架け替えを行います。

鍋谷川合流点（7.6k 付近）
【平成 25 年 7 月洪水（観測史上最大）】

佐々木町・古府町の河川整備内容



歴史・文化を伝える埋蔵文化財調査

河川改修予定箇所において、石川県内の歴史と文化を伝える埋蔵文化財調査を石川県の協力のもと実施しています。

一針 C 遺跡（R6.2k 付近）
【調査区遠景】

古府シマ遺跡（R8.6k 付近）
【河跡の発掘状況】

一針 C 遺跡（R6.2k 付近）
【弥生時代の井戸枠】

古府シマ遺跡（R8.6k 付近）
【井戸】

※　写真は、石川県埋蔵文化財センター提供

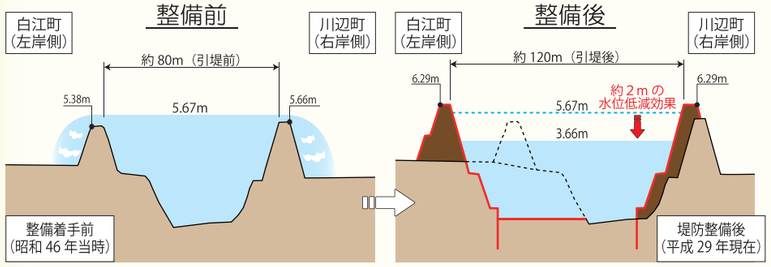
金屋町・能美町の河川整備内容

白江町・一針町の河川整備内容

白江大橋までの引堤効果

平成 29 年 8 月 8 日および 10 月 22 日に梯川の埴田（はねだ）水位観測所において、避難勧告発令の目安となる氾濫危険水位を上回る洪水が発生しました。梯川の河川改修や上流の赤瀬ダムがなかった場合、改修前の川幅では安全に洪水を流下させることができず、氾濫していたと想定されます。

これまでの梯川改修により、約２メートルの水位低減効果があったと考えられ、洪水氾濫を防止することができました。



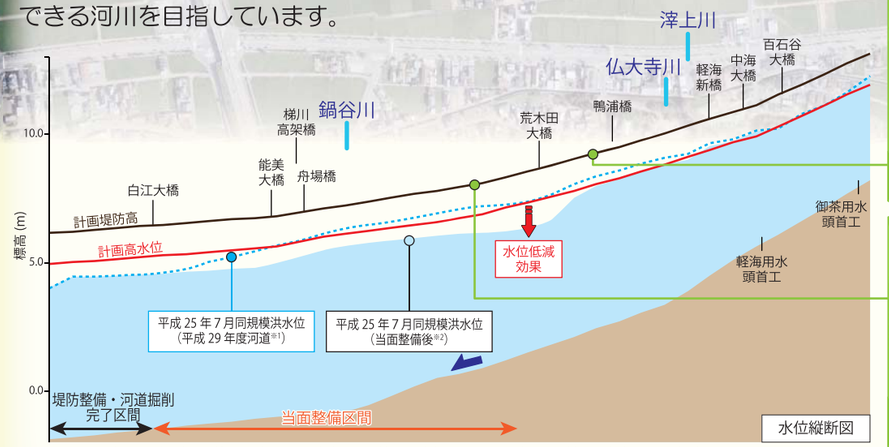
※1　高さは、「東京湾平均海面（T.P.）」の標高を示しています。
※2　各水位は、平成 29 年８月８日の計算値を示しています。

【能美大橋（小松市）】
小松市と連携し、架替工事を実施。

【平成 29 年 10 月洪水】
能美大橋付近堤防右岸より下流を望む

これからの河川改修により期待される効果
【平成 25 年 7 月洪水と同規模の洪水を安全に流下】

白江大橋から荒木田大橋までの河川改修により、観測史上最高水位を記録した平成 25 年７月洪水と同規模の洪水が発生しても、安全に流下させることができる河川を目指しています。



※1　平成 29 年度河道は、白江大橋までの整備が完了したときの計算水位を示します。
※2　当面整備区間が完了したときの計算水位を示しています。

【平成 25 年７月洪水】
鴨浦橋から下流を望む

【平成 25 年７月洪水】
荒木田大橋付近左岸堤防から上流を望む